

いくぞう 通信

議会レポート

No.24 号

2020 年 3 月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792
Tel・fax 0282-55-8776
携帯 090-9010-7042
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

2月21日から3月24日までの33日間、3月議会が開かれ、2020年度一般、特別会計補正予算、条例改正7件、千塚産業団地内の土地売り払い3件、指定管理者の指定1件、教育委員、固定資産評価委員同意2件、人権擁護

委員同意1件を可決し閉会した。詳しくは議会広報等ご覧ください。



過去最高の予算・・・659億9千万円

しかし厳しい財政運営が待っている？

災害対策費は前年度分と合わせ 185 億円

台風19号の被害状況もおおむね明らかになり、いよいよ復興元年を迎える。災害査定もおおむね終わり本格的な工事が始まる。広い栃木市で災害のない地域はない。ほとんどが

被災を受けた。それにしても一級河川の永野川をはじめその管理責任が問われなければならない。栃木県の管理責任は重い。

河川の氾濫責任と復旧を求める要望書・・・知事にものを言うのは当然

栃木県市議会議長会は12月10日県内14市議会議長連名で、県知事に対して「県の管理責任」を求めた要望書を提出した。

特に豪雨の激しかった県南西部における、三杉川、永野川、巴波川、柏倉川、(栃木市関係河川のみ)などの

一級河川堤防の決壊や溢水、越水は年々河川に堆積する土砂が河川の容量を減少させていることが原因であると考えられる。決壊個所の修繕、河川の土砂や樹木の除去などの減災対策の早急な実施を求めている。

一般質問1 台風19号の主な原因と責任について

永野川からあふれ出た水で、市役所まで浸水・・・なぜ？

針谷「永野川上人橋付近（錦着山西）の水面と市役所の標高差はどれくらいか」

部長「上人橋付近の平常時では43m、市役所は45.2m、その差は2.2m市役所が高い位置にある」

針谷「国土地理院によると、永野川48m、市役所は45.2m市役所が2.8m低い数字である」なぜ答弁では逆転するのか？

部長「土木の図面から割り出したものである」

針谷「事実として永野川の堤防を越えて市役所まで流れ込んだことは、どう

説明するのか？市内は堤防のない輪中状態で、永野川は天井川でないか？」

部長「そのようなことはない」

針谷「市内ほとんどがハザードマップの浸水区域になっているのは異常でないか」

部長「永野川は洪水発生時には相当な被害が生じる恐れのある「洪水予報河川」に指定され、想定しうる最大規模の降雨により氾濫した時がマップに示されている。」

針谷「永野の上流部での雨量は」

部長「499ミリと聞いている」

針谷「永野川の想定雨量は405ミリ、当然溢れることになる」

7,900世帯が、床上・床下の浸水被害

部長「4年前の巴波川の溢水とあわせ、永野川6か所の堤防決壊などが被害を拡大させたと考えている」

今後の復旧復興は、県の責任で実施する

部長「今後も市町長、市町議会とも連携を取り、県に働きかける」

針谷「お願い陳情では、市民生活が守れないことが証明された。復旧事業も始まり、災害のないまちづくりのためにも河川改修に全力を上げてほしい」

部長「巴波川、永野川については国県と連携し河川整備の見直しも含め協議し、災害に強い河川整備に取り組む」



一般質問2 栃木シティフットボール・スタジアム建設について

練習場への土砂流入・・・市はどう解決するのか？

針谷「台風19号で練習場に土砂が入り2580万円の請求が、山林所有者にあったことを市としてどう考えるのか」

部長「自然災害であるので両方で納得のいく解決を図ってほしい。市は円満な解決に努力する」

親会社(株)日本理化工業所の業績と経理状況は、

部長「売り上げが29年129億円、30年151億円、元年154億円、経常利益29年6.億円、30年5.1億円、元年5.5億円安定的な経営と認識している」

針谷「それだけではわからない。公表されている財務状況表から判断して、

| | | |
|---------|------------|--------------------------|
| 負債比率 | 326% (×) | 100%を下回ると安全性が高い |
| 自己資本比率 | 23.5% (△) | 70%以上理想的、40%以上なら安心 |
| 流動化比率 | 119.2% (○) | 短期的な支払い能力は問題なし |
| 固定比率 | 271.6% (×) | 自己資本を上回る借金で固定資産を調達している |
| 経常収支比率 | 109.6% (○) | 現金という動きのある資産の安全性の動き |
| 有利子負債比率 | 166% (×) | 資金繰りの悪化が進行、倒産リスクも高まる心配あり |

この数字はどうか」

部長「承知してない」

針谷「よくその会社を分析したところ不安がある。大丈夫なのかを見極めて欲しい」



市に債務保証を要求する、とんでもない会社でないのか？

針谷「昨年の8月に4項目の要望が会社から出され、議会への報告は20年の1月の研究会だった。あまりにもおそすぎないか。その内容は」

部長「日本理化が自己資金で整備、維持管理を行う。市はその後の費用は出さない。」

使用料、固定資産税を……10年間取らないのか？

市長「免除する」使用料年間1300万円が無料になる??

市民に「公正・公平です」と説明ができるのか？

市長「他市との競争の中で使用料、固定資産税の免除を検討した。使用料は公園条例22条で免除できる定めがある(1300万円)。固定資産税は、税条例71条で免除できると定められている。それぞれ期間は10年とする。」

針谷「理由は何か・根拠を示してもらいたい」

市長「市民団体等からも整備を求められていること、全国へのPR、経済貢献、岩舟地域の活性化などが理由です。地域経済に相当のメリット出てくる」

針谷「使用料、固定資産税免除規定で、公共団体等、さらに生活困窮者、災害を受けたなどの理由があるが、営利団体に無料貸し出しは納得できない。公共団体に貸す場合でも入場料を取れば有料になる。」

針谷「いつJFL・Jリーグに昇格できる予定なのか」

部長「令和3年にはJFL昇格を目指しているようだ」

まして民間経営のスタジアム、当然入
場料を取るならば、使用料、固定資産

税を納めるべきだ」…部長「市長が認
めるものなので納める義務はない」

一般質問3・栃木の地下水と保全条例について

熊本市で「栃木の水はやっぱり宝」だったことを再認識した

「宝の地下水を子供たちに残すこと」…市の保全条例制定が必要

熊本市に視察に行き栃木の地下水が全
国8位にランクされていることを知り驚くと
同時に嬉しくなった。灯台下暗しであった
ことを恥じた。なんと足利市は第6位。

針谷「栃木の水の状況はどうか」

部長「一部を除けば、とても良好で安定し
ている。園部の第一水源は水位も20年間
変動はない。自然の恵みによる良質で豊
富な地下水を今後も利用していきます。」

針谷「ベストテンに県南2市が入ってい
た。熊本も阿蘇山の伏流水、県南は日
光、足尾の伏流水とおもわれる。佐野市、
壬生町、下野市も地下水100%である。」
部長「県の条例で地下水保全が図られて
いる。将来のリスク回避のために水源の
多様性も含めて、市として適切な制度
設計を引き続き検討する。」

針谷「地下水保全条例は早急に検討して
欲しい」

一般質問4・台風19号で被災職員の状況と人件費削減について

被災した職員数は床上下浸水 88 人、自家用車の被災55人

このような被害を受けながら10月から
1月まで職員は献身的に災害復旧に務め
てくれて、市民からも感謝されている。
そんな職員の時間外手当30%、管理職

手当10%を削減することは止めるべきで
ある。理屈が通らない「弱いものいじめ」を
やってはいけない。職員組合と交渉し、
妥結しなければできないはず。

なぜなら台風被害による財源不足の責任は、職員にはない

責任のないことで、責任を取らせるようなことをやってはいけない

今回の被害の原因は県の河川管理の不作為、怠慢にある。

永野川の決壊、溢水さえなかったら栃木市は浸水被害を受けなかった。人口流出
もなかった。住みよい田舎ランキングも一番を確保できたはず。永野川の管理者の栃木県
に責任を取ってもらうことであり、職員に取らせることは理論的に破綻している。